

令和7年度 第3回旭川市農業センター運営懇話会 会議録（要旨）

1 日 時 令和8年3月24日（火） 午後1時50分から2時30分まで

2 場 所 旭川市農業センター 会議室

3 出席者（参加者）

金ヶ崎 一美氏、佐藤 慎二氏、妹尾 弦氏、谷 健太郎氏、中田 陽介氏、
西川 貴浩氏、百嶋 登志男氏、福川 英司氏、守屋 大輔氏、吉田 友弘氏、
和田 澄江氏

（市 側）

細矢農業センター所長ほか職員3名

4 内容

(1) 使用料及び手数料の見直しについて

(2) 令和8年度の農産加工室の管理・運営について

(3) その他

5 会議の公開・非公開の別 公開

6 傍聴者 なし

7 会議録

【進行役】

それでは、次第に従い進めさせていただきます。

まずは、(1) 使用料及び手数料の見直しについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

（資料に基づき説明）

受益と負担の適正化という観点や、今後持続的にサービスを維持していくために必要な改定と考えておりますが、施設を利用される方や営農に土壌診断を活用されてきた農業者の皆様にとっては、影響のあることと思います。

そこで、施設や土壌診断を御利用いただくために、今後、どのような取組を進めていくのがよいのかを考えていく上で、皆様から御意見をいただければと存じます。例えば、前回（令和2年）に土壌診断手数料を改定した際は、土づくり対策を総合的に支援する事業によって土づくりの個別相談対応や情報発信を強化した経緯がございます。

今回の見直し自体に対する御意見も含め、今後の取組についての御意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

【進行役】

事務局より説明がありましたが、説明内容で不明な点等がありましたら御発言願います。

【参加者】

ホールや和室、農産加工室について、1年間でどのくらいの人数・団体数の利用があったか教えてください。

また、今回の使用料・手数料の見直しに関するパブリックコメントの募集について、一般の方への周知はどのように行われていましたか。こういった時代なので、SNSでの周知があると、より広く見てもらえたのかなと思いました。

【事務局】

施設の利用状況につきましては、利用件数と利用者数について、過去3年間の大体の実績をお伝えします。ホールにつきましては、年間約120から150件程度の利用があり、人数は3,000人前後となっています。和室は年間20から30件台の利用があり、人数は200から400人台となっています。農産加工室は80から100件程度の利用状況で、利用人数は500から640人程度となっています。

また、施設の利用料金については、通常料金で使用いただく団体、市と関連のある農業団体や社会教育団体等の減額になる団体、市が公務で使用する場合等に免除になる、といった3パターンに分かれます。令和6年度のホールと和室を合わせた利用件数をお伝えしますと、通常使用が76件、減額使用が69件、免除使用が29件となっております。

2つ目の質問に関してお答えします。今回の使用料・手数料の見直しについての情報提供の方法は、市のホームページ、こうほう旭川市民「あさひばし」に掲載したほか、各担当部署や施設から、関係する団体等に対して直接案内したところもあると思います。

【進行役】

先ほど、土壌分析料金の改定の話も出ていましたが、昨今の肥料代高騰や世界情勢が安定しない中で、肥料代がこの先どうなるか、というところが心配されますので、農業センターには、土壌分析診断の活用により肥料を減らせるように、啓蒙活動を続けていただきたいと思います。

【事務局】

承知しました。

【進行役】

他に御意見がなければ、次に、(2) 令和8年度の農産加工室の管理・運営について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

こちらの内容につきましては、口頭で御説明いたします。

農業センターでは、市民の皆さんにアイスクリームや豆腐などの農産加工を体験していただくことを目的として年に数回、農産加工体験会を開催しております。具体的には、アイスクリーム作りを年に2～4回、豆腐作りを2回実施しておりますが、今年の1月9日に開催

した「冬休み子供アイスクリーム作り」体験会において、アイスクリームの加工機器の部品が混入する事案が発生してしまいました。

この件については、令和8年第1回定例会の経済建設常任委員会で報告し、1月22日の北海道新聞にも掲載されましたので、御存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、その経緯と今後の対応について、説明させていただきます。

当日は事前に抽選された保護者と小学生が5組、計11人が参加されましたが、アイスクリームフリーザーという機械の内部の部品が外れ、参加者がお持ち帰りになったアイスクリームの中に混入してしまい、体験会終了直後に参加者の1人から「アイスクリームに部品のような物が入っていた。」とのお電話をいただきまして、部品が無くなっていることに気づきました。

この時点でフリーザーの部品を確認したところ、同じ部品が3個あったことがわかり、残りの2個がフリーザーの中になかったことから、すぐに参加者全員にお電話で説明し、その日の夜から翌日までに、参加者全員からアイスクリームを回収しました。そして、その中から外れた部品を全て発見できたことから、幸い、どなたかが誤って部品を飲み込むなどの被害には至りませんでした。

このことから、現在はアイスクリーム作りでの加工室の受付は休止しております。当日使用したアイスクリームフリーザーについて、後日メーカーに点検していただいたところ、非常に古い機械で内部の部品が摩耗しており、故障個所の部品の供給もないとのことでした。メーカーからは、稼働させることは可能ですが、使用はお勧めしないとの説明がありましたので、今後もしばらくはアイスクリーム作りでの加工室の受付は休止とし、保管しているもう1台の小型のアイスクリームフリーザーを使って貸出を再開できるかどうか、機械の使用方法や加工工程の見直し作業を進めているところです。説明は以上です。

【進行役】

事務局より説明がありましたが、意見・質問があれば御発言願います。

【進行役】

私もこうした事案があったことは、把握しておりませんが、このような事案がありましたということで、皆さん共有いただければと思います。

【事務局】

農産加工室で作れるものとしては、味噌、豆腐、トマトジュースといったメニューがありますが、加工機器が全体的に老朽化しておりますので、今後、更新等について検討していきたいと思っております。

【進行役】

他に御意見・御質問がないようですので、最後に、(3)その他ということで、事務局から何かございますか。

【事務局】

ございません。

【進行役】

それでは、以上をもちまして、会議を終了させていただきます。

皆さま、円滑な会議の進行に御協力をいただき、ありがとうございました。

【事務局】

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。